

事務事業名		ごみ減量推進事業			会計	一般会計				
H27担当課等名		環境課			事業種別	政策		開始	終了	
H27係等名		環境課			H27係等名		廃棄物対策係			
基本計画上の位置づけ		政策	5	人の営みと自然・環境が調和したまちづくり						
		施策	56	廃棄物の減量と適正処理						
目的	対象(誰・何を)	市民、事業者			指標名及び単位			26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	ごみ減量の必要性を認識して、焼却・埋立処分するごみの減量(リデュース、リユース、リサイクル)を実践してもらう。			飯田市の人口(人) ※9月末住民登録人口			104950		
	向上させたい上位施策の成果指標	ごみの収集量								
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)	
	成果指標	ごみの収集量(家庭系一般廃棄物)(t/年)			21190	21630	20896	20562		
	定性目標									
事業概要	レジ袋削減など、消費者活動の支援などで家庭から排出されるごみの減量化を推進するほか、ISO14001などの環境マネジメントシステムの普及促進による自主的な計画により事業所から排出されるごみの減量化を推進する。 1 家庭から排出されるごみの減量化の推進 2 事業所から排出されるごみの減量化の促進									
26年度事業内容	事業内容				名称			活動指標		
	1(1) 買い物時の簡易包装の推進 ア 南信州レジ袋削減推進協議会等との連携 (2) 桐林クリーンセンターを活用する団体への支援 (3) 家庭から排出されるごみを減量する方法の研究 ア ごみの適正処理啓発市民ボランティアとの研究 2(1) 南信州いいむす21等の環境マネジメントシステムに基づく自主的な計画による、事業系一般廃棄物の減量				1(1)ア(ア) 街頭啓発回数 (イ) レジ袋削減への協力店舗数 (3)ア 研究会議開催数			1(1)ア(ア) 1回 (イ) 73店舗 (3)ア 5回		
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		0	0	0	0					
国庫支出金										
県支出金										
起債										
その他										
一般財源										
人件費計(千円)②		358		358						
正規職員所要時間		100		100						
臨時職員所要時間										
総事業費①+②		358	0	358	0					
事業内容・目標達成状況の振り返り	家庭から排出されるごみについては、ごみの適正処理啓発市民ボランティアによる継続的な活動により、減量化が推進された。									
改革改善の考え方	①問題点	事業者、消費者、行政が協働し、レジ袋の削減に取り組む「南信州レジ袋削減推進協議会」のあり方について、事務局である長野県下伊那地方事務所により、平成27年度を目途に見直しが行われている。								
	②改革提案	飯田市では、見直しの状況を踏まえ、今後の取組について検討する。								